

第18回交流会 八幡平大会 プログラム

近世の鹿角街道の1つは、盛岡城下から岩手郡、二戸郡を経て、鹿角郡の土深井から秋田藩に入り、扇田を通り、岩瀬（大館市）で羽州街道に至る街道でした。

この街道の歴史は古く、平安時代・元慶の乱の「流霞道」（リュウカドウ）が初出といわれます。また奥州藤原氏を支えた「奥大道」も外ヶ浜（青森市）に通じていたと思われます。そして江戸時代には、尾去沢鉱山から盛岡城下や大坂へ銅を運搬する重要な役割を果たしていました。

七時雨山麓からの鹿角街道には、一里塚や道標、旅人の供養碑などの史跡が残っていることから、文化庁の「歴史の道百選」として、梨ノ木峠から田山を経て湯瀬までが平成8年に、西根寺田から梨ノ木峠までが令和元年に選定されています。また「七時雨ロマンの会」と「八幡平歴史夢街道の会」が、街道の保全、マップ作成や散策会を行っています。

一方、新たな観光の方向として、街道ツーリズムと街道周辺の自然や地域の文化に触れるアドベンチャーツーリズムとの融合が期待されています。

この度、八幡平市内の鹿角街道とアドベンチャーツーリズムをテーマとして、とうほく街道会議交流会を開催し、地域の方々も含めて広く、この街道の魅力や取組みの内容などを知り、考えていただくとともに、東北各地の活動団体との交流により、取組みの更なる躍進を旨とするものです。

第1日目10月6日（金）

I 交流会 第一部「フォーラム」〔13:00～16:30〕（参加費無料）

- 主催者挨拶 八幡平大会実行委員会 委員長 小山田 和義
とうほく街道会議 会長 宮原育子
- 開催地挨拶 八幡平市長 佐々木 孝弘 氏
- 来賓挨拶 岩手県（予定）
国土交通省東北地方整備局（予定）

【基調講演】〔13:40～14:40〕

「奥州藤原氏から始まる八幡平地域の歴史と街道」（仮題）

奥州藤原氏の栄華により、北方～南方、太平洋～日本海の物資・文化の交流、それに伴う街道の発展。動乱を経ながら古代・中世・近世にかけての郷土の歴史を、平泉文化から始まる歴史の観点から概説して頂きます。

講師：八重樫 忠郎 氏（平泉世界遺産ガイドセンターセンター長）

（休憩（会場設営）、及びパネル展の観覧）

【分科会】〔15:00～16:30〕

●分科会：パネルディスカッション

「鹿角街道が繋ぐアドベンチャーツーリズムの可能性」

近年、アクティビティを通じて、地域独自の豊かな自然・歴史文化に触れるアドベンチャーツーリズムが期待されています。八幡平市での鹿角街道と歴史文化が繋ぐアドベンチャーツーリズムの可能性について考えます。

- ファシリテーター 柴田 亮 氏（株）八幡平DMO 取締役 CEO
- アドバイザー 八重樫 忠郎 氏（平泉世界遺産ガイドセンターセンター長）
- パネリスト 小山田 和義 氏（八幡平歴史夢街道の会 会長）
畠山 城司 氏（七時雨ロマンの会 事務局長） ほか



七時雨山と八幡平・岩手山を望む
「はち旅 style」より



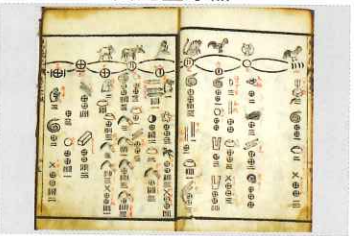
七時雨マウンテントレイルフェス
助け小屋跡「youtube」より



街道刈払い



安比塗漆器



田山曆（国立天文台蔵）

II 交流会 第二部 「街道談義」〔17:00～19:00〕 会場：コンベンションホール「あしろ」

郷土料理や地酒による交流会（参加費：6,000円 / 定員 50名）

III 活動紹介パネル展〔12:00～17:00〕 会場：コンベンションホール「あしろ」前

八幡平市紹介ポスター、東北各地の街道関係団体等

第2日目10月7日（土）

<探訪会>（参加費：2,000円、ガイド付き、資料代・保険代込み）

※各コースとも小雨決行です。雨具等のご用意をお願いします。 ※⇒はバス移動、～は徒歩

【A：七時雨一里塚～曲田一里塚コース】 定員 20名〔徒歩距離約8km〕

- 集合 [8:15] 「新安比温泉静流閣駐車場」
- コース (8:30) 新安比温泉駐車場発⇒(8:45) 七時雨一里塚～(10:00) 荒屋一里塚～(11:30) 曲田一里塚⇒(11:45) 新安比温泉駐車場着
- みどころ 峠を越えてから下るコース。旧宿場町の荒屋新町を通り抜け曲田一里塚へ向う。かつての荒屋新町は宿場としてだけでなく、木地ものや漆器類を中心とする市で栄えた。そのときに思いを馳せながらお帰りの際は安比塗漆器工房へ立ち寄り寄ってみては。距離は二里になるが平坦で歩きやすいコース。



七時雨一里塚



荒屋一里塚



曲田一里塚

【B：白坂観音堂跡経由 留の沢一里塚～七時雨一里塚コース】 定員 20名〔徒歩距離約4km〕

- 集合 [8:45] 「新安比温泉静流閣駐車場」
- コース (9:00) 新安比温泉駐車場発⇒(9:30) 白坂観音堂跡⇒(9:50) 留の沢一里塚～(10:30) 車之走峠～(11:30) 七時雨一里塚⇒(11:45) 新安比温泉駐車場着
- みどころ 峠越えを体験するコース。前半にこの街道一番の難所の車之走峠を越える。難所であったこともあり、途中、道標、旅人の供養碑など往時をしのばせる史跡が残っている。白坂観音堂は神亀5年（728）、聖武天皇の大僧正・行基が開いたと伝えられ、勅使を使わし鑄造させた七面観音を本尊にしたといわれている。



白坂観音堂跡



留の沢一里塚



車之走峠

【S：荒沢漆器の展示・講演】 定員 20名（参加費無料）

- 集合 [12:00] 「新安比温泉静流閣駐車場」 ※探訪会 A・B コース終了後
- 内容 (12:10) 新安比温泉駐車場発⇒(12:15) 五日市コミュニティセンター着⇒食事⇒(13:15) 講演⇒(14:00) 五日市コミュニティセンター発⇒(14:05) 新安比温泉駐車場着
- みどころ 地元の五日市振興協会のご厚意により、浄法寺塗の始まりとなった荒沢漆器を使い、実際に郷土料理を食します。また、地元旧家に保管されている荒沢漆器の展示と歴史文化の説明、漆器の器種と料理の盛付けについて講演があります。